

品川区議会議員 区政報告

日本共産党



# おくの晋治

区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818 Fax：03-3778-3088

区政報告について、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。  
ホームページ：<http://senkyo.jcp-tokyo.net/okuno/>

## 加齢性難聴者への公的支援を

# 補聴器の購入費助成 聴力検査など提案

羽田新飛行ルート問題の急展開のため報告が遅れましたが、鈴木ひろ子区議は6月議会（2定）の一般質問で、加齢性難聴者への公的支援を求めました。

国立長寿医療センターの調査では、65歳以上の

約半数に難聴があると推計されており、品川区で

は4万人を超えることになり、難聴は多くの

高齢者が抱える問題です。難聴によってコミュニケーションに支障をきたし、家庭や社会での孤立につながります。また、

脳は感じたり考えたりすることが少なくなり、認知機能が低下するとも言

われています。

われいています。

難聴は、早期に診断し、

早い補聴器の使用が必要です。進行してからは

十分な聞こえの改善が得られませんが、そのために

も聴力検査をだれもが受けられる仕組みが必要で

す。

鈴木区議は「補聴器購入費の助成」と「聴力検査制度の創設」を求めました。しかし品川区は

「実施する考えはない」と冷たい答弁でした。

23区ですすでに9区が購入費助成をしています。

都議会でも早期着用の重要性が都知事から語られました。引き続き実現に

頑張りします。

頑張りします。

おくの晋治プロフィール：1956年愛媛県松山市生まれ。愛光学園中学・高校、東京大学法学部卒。塾講師・家庭教師、品川区議団事務局を経て、2018年9月初当選。現在2期目。西五反田在住。趣味は映画・演劇鑑賞。山田洋次が大好き。

# 医療的ケアの必要な重度障害者が 当たり前前に生活できる支援を

通所施設、ショートステイ、緊急通報システムなど

痰の吸引や経管栄養、人工呼吸器など医療的ケアの必要な重度障害児・者は、品川区で83人、そのうち人工呼吸器使用者は24人（内11人が18歳未満）です。支援は切実です。

鈴木区議は2定の一般質問で、支援の充実へ具体的な提案を行いました。

第一は、通所施設、ショートステイの設置です。品川区にある医療的ケアの必要な重度障害者の通所施設は一か所のみ。しかも人工呼吸器使用者は受け入れていません。またショートステイは一か所もありません。そこでこれらを求め

ました。

区は「医療機関と連携を取りながら仕組みを作っていく」と答弁しました。

第二は、医療的ケア児等支援体制協議会を設け、支援計画を策定することです。区は「現在設置に向けて準備を進めている」と答弁しました。

第三は、緊急通報システムの対象を障害者のいる家庭に拡大することです。区は「お話を伺い対応したい」と答弁しました。支援の充実にこれからも取り組んでいきます。

## 区政懇談会

9月14日（土）

★9：30～11：30

荏原第4地域センター

第1・2集会室

（東急大井町線・荏原町駅前）

